

住宅の困窮状況申立書

この申立書に記載されている内容は、事実と相違ありません。また、記載事項及びその他について、必要に応じ調査することに同意します。なお、事実と相違がある場合は、申込を無効とされても、異議を申し立てません。

公営住宅入居決定後は、関係法令等で定められている様々な制限や義務を遵守いたします。

令和 年 月 日
読谷村長 様

申込者氏名

※ これらの質問は公営住宅の入居順位を決定する上で重要な資料となりますので、正確かつ詳細にご記入ください。また、必要に応じて困窮状況等について、電話・調査させていただきます。

※ ○を付けた項目の右端の「確認書類等」を申込時に一緒に提出してください。

※ この書類の提出後に生活状況等に変更がありましたら、その都度ご連絡ください。

住宅に困っている理由について、該当する項目の「回答」欄に○をつけてください。また、理由等を記入する項目については、わかりやすくご記入ください。複数回答可です。

質問		回答	確認書類等
建物	ア 工場・倉庫などの非住宅に居住している。		・写真 ・その他証明書類
	イ 非住宅を内部改装等で転用した住宅に居住している。		
保安・衛生環境	ア 持家の耐用年数が経過・老朽化し、修理不可能な住宅に居住している。		・事実を証明できる書類 ・その他証明書類
	イ 持家の耐用年数が経過・老朽化し、住宅の構造部分に修繕が必要な住宅に居住している。		
	ウ 崖上・崖下等危険性がある住宅に居住している。		
	エ 付近に悪臭や騒音を放つ施設があり被害を受けている。		
	オ 1日中ほとんど日照・通風がないところに居住している。		
	カ 1軒の住宅(2世帯住宅ではない)に2世帯以上同居し苦痛である。		
同居・別居	ア 住宅が無いため親・兄弟と同居しているが、苦痛が甚大である。 ※理由を記入してください。		
	イ 住宅が無いため配偶者(婚約者を含む。)と別居している。(※入居申込みから3月以内の婚姻予定に限る。)		
	ウ 住宅が無いため扶養を要する親・兄弟などと別居している。		
	エ 台所やトイレなどを他の世帯と共同で使用している。		

住宅に困っている理由について、該当する項目の「回答」欄に○をつけてください。また、理由等を記入する項目については、わかりやすくご記入ください。複数回答可です。

質問		回答	確認書類等	
風紀・間取り	ア	間仕切りが不完全な住宅に2夫婦以上が居住している。		
	イ	夫婦と12歳以上の子供が1つの部屋に就寝している。		
	ウ	1つの部屋に12歳以上の異性兄弟が就寝している。		
	エ	1つの部屋に12歳以上の同性兄弟が就寝している。		
	オ	住宅の床面積(和室、洋室、居間の合計面積)を記入してください。 _____		
立退要求	ア	自己の責めによらない理由で、家主・貸主から立退き要求を受けている。	・立退き要求を受けていることが確認できる書類	
	イ	自己の責めによらない理由で、裁判上の立ち退き要求を受けている。		
遠隔地		勤務場所周辺に住宅がなく、通勤時間に1時間以上かかる。		
	ア	※ 通勤時間、通勤距離を記入してください。 _____		
		※ 勤務地を記入してください。 _____		
住宅費	※現在の住宅の家賃(月額)を記入してください。 _____		・家賃額がわかる住宅の契約書の写し	
	ア	収入に比べ著しく過大な家賃の支払を余儀なくされている。		
	イ	生活保護世帯で生活扶助費を超過する家賃の支払を余儀なくされている。		
その他	ア	ひとり親世帯で18歳未満(障がい児の場合は20歳未満)の子を扶養している。		
		※ 人数 _____ 人		
	イ	65歳以上の高齢者世帯である。		
		※ 65歳以上の人数 _____ 人		
	ウ	本人又は同居者が障害者手帳の交付を受けている。	・障害者手帳の写し	
		※ 等級 _____ 級		
	エ	生活保護を受けている。	・生活保護受給証明書	
	オ	DV被害を受けている。	・相談等事実を確認できること	
【上記の質問以外で困っていることがあれば、具体的に分かりやすく記入してください。】				